

ごあいさつ

皆さま方には、日頃より、長野銀行をお引き立ていただくとともに、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、昨年の台風19号により被災された皆さまにおかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

さて、当行では、当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2019年9月期の業績、経営内容をできるだけわかりやすくご紹介するため、ここにディスクロージャー誌を作成いたしました。お気軽にご利用いただき、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

地域金融機関を取り巻く経営環境は、低金利政策の長期化により貸出金利・有価証券運用利回りが一層低下し、厳しい状況が続いております。また、人口減少や少子高齢化により中小企業を中心に後継者不足や従業員の人手不足による事業の休廃業も増加傾向にあり、今後の地域経済の活力低下が懸念される状況にあります。

このような環境下、2019年4月よりスタートした第11次中期経営計画において、中小企業と個人に寄り添う「長野県のマザーバンク」の実現に向けて役職員一丸となって業容の拡充と経営の一層の効率化に努めてまいります。

当行は、2020年11月に創業70周年を迎えます。これもひとえに地域の皆さまからの格別なるお引き立ての賜物であり深く感謝申し上げます。これからも地域の金融機関として、従来からの円滑な資金供給に加えて、お客さまの幅広いニーズや課題解決に積極的に取り組み、コンサルティング機能を発揮するとともに、お客さまの利便性向上につながるさまざまな金融サービスの提供を通して、お客さまの夢の実現に向けて業務運営に努めてまいります。

2020年1月

取締役頭取 西澤 仁志

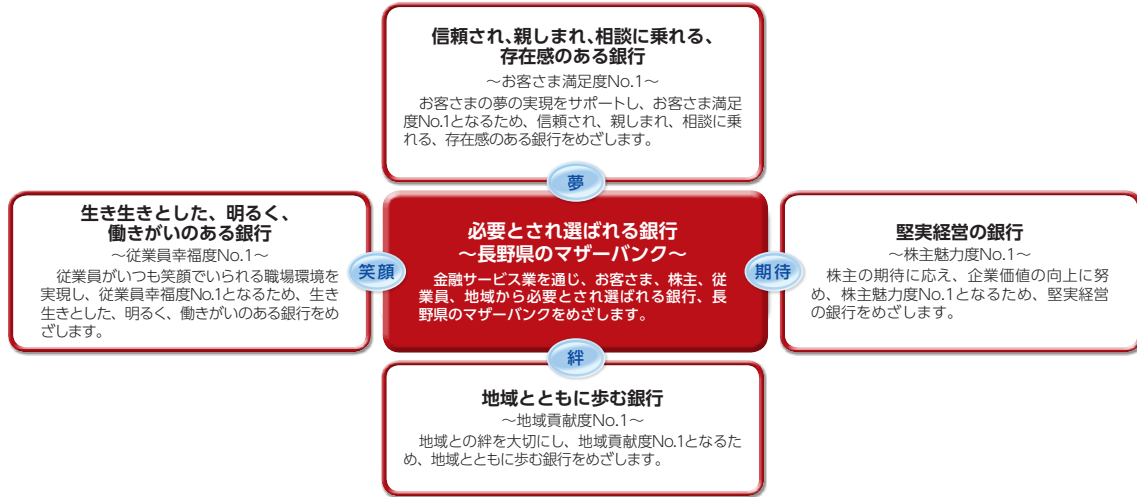


長野銀行がめざすもの

長野銀行がめざすもの

経営理念 当行は、お客さまと株主の皆さまおよび従業員の幸福と繁栄のために全力を尽くします。

めざす銀行像



第11次中期経営計画（2019年4月～2022年3月）

めざす銀行像

必要とされ選ばれる銀行 ～長野県のマザーバンク～

盤石な経営基盤の確立

第11次中期経営計画

不断の改革と更なる進化

～中小企業と個人に寄り添う「長野県のマザーバンク」～

4つの基本方針

- 1 お客さまをよく知り、お客さまの課題解決に向けた取組みの強化
- 2 お客さま本位を第一とした業務運営による金融サービスの提供
- 3 営業店権限の拡充と本部サポート機能の充実による現場力の強化
- 4 経営資源の再配分による収益力の強化

4つの重点施策

考働改革

業務運営改革

人財の育成
ダイバーシティ推進

リスク・リターン
コントロール進化

取引基盤の拡充

主要計数目標

	創業・第二創業 支援先数	事業承継・M&A 支援先数	事業性融資残高	個人ローン残高	当期純利益	自己資本比率
目標	400 先	600 先	3,000 億円	2,200 億円	10 億円	10%程度
進捗	94 先	139 先	2,914 億円	2,105 億円	7 億円 (中間純利益)	9.85%

(2019年9月30日現在)